

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年 8 月24日
【会社名】	株式会社ゼネテック
【英訳名】	GENETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 社長執行役員 上野 憲二
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号
【電話番号】	03-6258-5601（代）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 経営管理統括部長 鈴木 章浩
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号
【電話番号】	03-6258-5601（代）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 経営管理統括部長 鈴木 章浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

1【提出理由】

当社は、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約（以下、「本契約」といいます。）を締結しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の4の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（１）本契約を締結した年月日
2026年8月21日

（２）本契約の相手方の属性
都市銀行

（３）本契約に係る債務の元本の額及び弁済期限並びに当該責務に付された担保の内容
債務の元本の額 18億円
弁済期限 2036年7月31日
当該債務に付された担保の内容 該当事項はありません。

（４）財務上の特約の内容
各事業年度の決算期の末日における連結の貸借対照表における純資産の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。
各事業年度の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益を2期連続して損失としないこと。
2028年3月期以降の各事業年度の決算期におけるDSCRを1.1倍以上に維持すること。
なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度において、以下の計算式により算出される値をいう。
$$DSCR = (A - B - C + D) \div E$$

A = 当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益
B = 当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等支払合計額
C = 当該事業年度における連結の余剰金の支払額
D = 当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額及びのれん償却実施額
E = 当該事業年度における金融機関からの長期借入金（社債を含む。）の年間元本弁済額
（ただし、期限前弁済額を除く。）

以 上